

2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月6日

上場会社名 株式会社ジーテクト 上場取引所 東
 コード番号 5970 URL <https://www.g-tekt.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 高尾 直宏
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 (氏名) 吉沢 勲 TEL 048-646-3400
 四半期報告書提出予定日 2020年11月9日 配当支払開始予定日 2020年11月30日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2021年3月期第2四半期	91,005	△22.7	500	△89.5	407	△91.9	188	△94.2
2020年3月期第2四半期	117,689	△1.9	4,770	△30.3	5,029	△28.3	3,230	△23.3

（注）包括利益 2021年3月期第2四半期 317百万円（－％） 2020年3月期第2四半期 △1,370百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	4.39	—
2020年3月期第2四半期	75.40	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2021年3月期第2四半期	226,408	130,770	53.1
2020年3月期	232,188	131,598	51.8

（参考）自己資本 2021年3月期第2四半期 120,110百万円 2020年3月期 120,342百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	24.00	—	24.00	48.00
2021年3月期	—	25.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	25.00	50.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	207,000	△9.3	5,500	△36.6	5,100	△41.7	3,200	△43.2	74.54

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料11ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	43,931,260株	2020年3月期	43,931,260株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	1,000,161株	2020年3月期	1,000,120株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	42,931,135株	2020年3月期2Q	42,847,158株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・四半期決算補足説明資料については、当社IR情報サイト（URL <https://www.g-tekt.jp/ir/index.html>）を併せてご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	11
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	11
(会計方針の変更)	11
(会計上の見積りの変更)	11
(追加情報)	11
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における経済情勢は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、世界各地で人とモノの移動が制限され、経済活動が大きく停滞・混乱しました。各国の巨額の財政出動や金融緩和により、第1四半期を底に回復の動きが見られましたが、雇用情勢や企業業績の悪化など世界景気は低迷しました。

自動車業界は、生産活動の停止や販売の縮小もあり大変厳しい状況となりました。第1四半期に既に生産回復した中国に続き、欧米地域においても操業再開により第2四半期には急回復しました。他方、新興国市場は財政難もありコロナ禍の影響が深刻な打撃となりました。

このような状況の中、当第2四半期連結累計期間の業績は、車体部品及び精密部品の量産売上は、中国地域を除き減収となり、新機種投入も少なく型設備売上が減少したことから、売上高は91,005百万円（前年同期比22.7%減）、利益については、売上の急激な減少に対し、グループ各社の費用削減と効率化を推進しましたが、増益となった中国地域を除き減収影響が大きく、営業利益は、500百万円（前年同期比89.5%減）、経常利益は、407百万円（前年同期比91.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は188百万円（前年同期比94.2%減）となりました。

報告セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①日本

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	26,418	25,547	△870	△3.3%
営業利益又は損失(△)	3	△114	△118	—

売上高は、試作売上、型設備売上等が増加した一方、第1四半期に一部の工場が操業停止となり量産売上が減少したこと等により、25,547百万円（前年同期比3.3%減）となりました。営業損益は、減収の影響等により、114百万円の営業損失（前年同期比は3百万円の利益）となりました。

②北米

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	41,410	30,846	△10,564	△25.5%
営業利益又は損失(△)	△663	△968	△305	—

売上高は、型設備売上が増加した一方、第1四半期に工場が操業停止となり、第2四半期で生産が回復しましたが、量産売上の減少等により、30,846百万円（前年同期比25.5%減）となりました。営業損益は、減収の影響等により、968百万円の営業損失（前年同期は663百万円の損失）となりました。

③欧州

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	9,813	5,937	△3,875	△39.5%
営業利益	1,447	300	△1,147	△79.3%

売上高は、第1四半期に工場が操業停止となり量産売上が減少したこと等により、5,937百万円（前年同期比39.5%減）となりました。営業利益は、減収の影響等により、300百万円（前年同期比79.3%減）となりました。

④アジア

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	18,008	8,733	△9,274	△51.5%
営業利益又は損失(△)	1,409	△1,181	△2,591	—

売上高は、第1四半期に工場が操業停止となり量産売上が減少したこと等により、8,733百万円（前年同期比51.5%減）となりました。営業損益は、減収の影響等により、1,181百万円の営業損失（前年同期は1,409百万円の利益）となりました。

⑤中国

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	24,414	26,965	2,551	10.5%
営業利益	2,449	2,620	170	7.0%

売上高は、早期の生産再開が寄与し、自動車市場も好調だったことから、量産売上が増加し、26,965百万円（前年同期比10.5%増）となりました。営業利益は、増収効果等により、2,620百万円（前年同期比7.0%増）となりました。

⑥南米

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	4,349	1,455	△2,893	△66.5%
営業利益	206	10	△195	△94.8%

売上高は、第1四半期に工場が操業停止となり量産売上が減少したこと等により、1,455百万円（前年同期比66.5%減）となりました。営業利益は、減収の影響等により、10百万円（前年同期比94.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末より5,780百万円減少し、226,408百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末より4,952百万円減少し、95,637百万円となりました。これは主に、短期借入金の減少によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末より827百万円減少し、130,770百万円となりました。これは主に、利益剰余金の減少によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、23,591百万円となり、前連結会計年度末に比べ、8,249百万円減少しました。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、前年同四半期連結累計期間に比べ、4,985百万円減少し、5,684百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の4,990百万円の減少及び前受金の3,626百万円の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、前年同四半期連結累計期間に比べ、9,081百万円減少し、5,427百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出の3,679百万円の減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、前年同四半期連結累計期間に比べ、9,602百万円増加し、8,628百万円となりました。これは主に、長期借入れによる収入の6,028百万円の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向等を踏まえ、2020年8月5日に公表した2021年3月期(2020年4月1日～2021年3月31日)の通期連結業績予想を修正することといたしました。

①2021年3月期通期連結業績予想数値の修正(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 192,000	百万円 1,900	百万円 1,600	百万円 1,200	円 銭 27.95
今回修正予想 (B)	207,000	5,500	5,100	3,200	74.54
増減額 (B - A)	15,000	3,600	3,500	2,000	—
増減率 (%)	7.8	189.5	218.8	166.7	—
(ご参考)前期通期実績 (2020年3月期)	228,253	8,677	8,744	5,633	131.35

②修正の理由

2021年3月期通期の連結業績につきましては、第2四半期累計実績を踏まえ、第3四半期以降の国内、海外の自動車販売及び生産動向が、前回発表時の予想を上回ると予測されること、製造コストや一般管理費の削減が想定以上に進んでいることなどから、売上・各利益の予想を見直し、通期業績見通しを修正いたします。

なお、主要通貨の想定為替レートは次の通りであります。

	第2四半期累計実績	第3四半期以降の 想定レート	通期想定レート
米ドル	円 106.90	円 105.00	円 105.95
人民元	15.26	15.10	15.18
タイバーツ	3.37	3.28	3.33
英国ポンド	135.41	132.00	133.71

(注) 上記の業績見通しは、現時点での入手可能な情報に基づく将来予測が含まれており、当社としてその実現をお約束するものではありません。実際の業績は、今後の事業運営や為替変動等の内外の状況の変化により、予想数値と大幅に異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	38,804	25,735
受取手形及び売掛金	22,877	28,083
製品	1,194	1,192
仕掛品	20,082	20,657
原材料	2,436	2,481
貯蔵品	1,086	1,094
その他	5,796	6,510
流動資産合計	92,279	85,756
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	48,800	50,290
機械装置及び運搬具(純額)	35,129	34,715
工具、器具及び備品(純額)	19,591	16,488
土地	12,521	12,512
建設仮勘定	12,734	15,442
有形固定資産合計	128,776	129,449
無形固定資産	1,650	1,749
投資その他の資産		
投資有価証券	6,594	6,584
その他	2,888	2,868
投資その他の資産合計	9,482	9,453
固定資産合計	139,909	140,652
資産合計	232,188	226,408
負債の部		
流動負債		
買掛金	16,730	21,025
短期借入金	29,511	19,960
1年内返済予定の長期借入金	7,620	8,582
未払金	5,865	7,081
未払法人税等	925	830
賞与引当金	1,241	1,707
その他	7,355	4,710
流動負債合計	69,252	63,899
固定負債		
長期借入金	23,396	24,304
退職給付に係る負債	1,701	1,728
役員株式給付引当金	278	326
その他	5,959	5,378
固定負債合計	31,337	31,738
負債合計	100,589	95,637

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,656	4,656
資本剰余金	23,657	23,657
利益剰余金	92,433	91,580
自己株式	△1,772	△1,772
株主資本合計	118,974	118,122
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	337	380
繰延ヘッジ損益	28	—
為替換算調整勘定	1,063	1,639
退職給付に係る調整累計額	△62	△31
その他の包括利益累計額合計	1,367	1,988
非支配株主持分	11,256	10,659
純資産合計	131,598	130,770
負債純資産合計	232,188	226,408

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	117,689	91,005
売上原価	106,103	84,921
売上総利益	11,586	6,084
販売費及び一般管理費	6,815	5,583
営業利益	4,770	500
営業外収益		
受取利息	231	160
受取配当金	73	50
持分法による投資利益	214	—
助成金収入	158	105
その他	243	144
営業外収益合計	921	461
営業外費用		
支払利息	306	366
為替差損	251	135
持分法による投資損失	—	4
その他	104	47
営業外費用合計	662	554
経常利益	5,029	407
特別利益		
固定資産売却益	13	62
特別利益合計	13	62
特別損失		
固定資産売却損	0	—
新型コロナウイルス感染症関連損失	—	418
特別損失合計	0	418
税金等調整前四半期純利益	5,042	52
法人税等	1,985	351
四半期純利益又は四半期純損失(△)	3,057	△298
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△172	△487
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,230	188

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	3,057	△298
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△144	42
繰延ヘッジ損益	—	△28
為替換算調整勘定	△4,193	671
退職給付に係る調整額	14	31
持分法適用会社に対する持分相当額	△103	△100
その他の包括利益合計	△4,427	616
四半期包括利益	△1,370	317
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,139	810
非支配株主に係る四半期包括利益	△231	△492

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,042	52
減価償却費	10,280	9,652
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	43	66
賞与引当金の増減額(△は減少)	433	464
受取利息及び受取配当金	△304	△211
支払利息	306	366
持分法による投資損益(△は益)	△214	4
固定資産除売却損益(△は益)	△12	△62
新型コロナウイルス感染症関連損失	—	133
売上債権の増減額(△は増加)	1,985	△5,317
たな卸資産の増減額(△は増加)	△5,444	△835
仕入債務の増減額(△は減少)	640	4,274
未収又は未払消費税等の増減額(△は減少)	△555	47
前受金の増減額(△は減少)	726	△2,900
未払金の増減額(△は減少)	△514	1,346
その他	△441	12
小計	11,969	7,094
利息及び配当金の受取額	353	238
利息の支払額	△299	△354
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△1,353	△1,295
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,669	5,684
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	△814	4,859
有形固定資産の取得による支出	△13,818	△10,139
有形固定資産の売却による収入	24	90
無形固定資産の取得による支出	△110	△198
投資有価証券の取得による支出	△43	△34
その他	254	△5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,508	△5,427
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△7,683	△9,347
長期借入れによる収入	12,868	6,839
長期借入金の返済による支出	△2,659	△4,915
割賦債務及びファイナンス・リース債務の返済による支出	△219	△59
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△1,041	△1,041
非支配株主への配当金の支払額	△289	△104
財務活動によるキャッシュ・フロー	974	△8,628
現金及び現金同等物に係る換算差額	△309	121
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,174	△8,249
現金及び現金同等物の期首残高	18,141	31,841
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,909	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,877	23,591

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症関連損失に関する注記)

連結子会社G-TEKT MEXICO CORP. S.A. DE C.V., G-TEKT India Private Ltd., G-KT do Brasil Ltda.の3社は、新型コロナウイルス感染症防止のための政府・自治体による要請により操業を停止いたしました。それぞれが通常生産に復帰するまでの期間における固定費及び直接要した費用を特別損失として418百万円計上いたしました。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計
	日本	北米	欧州	アジア	中国	南米	
売上高							
外部顧客への売上高	21,468	41,104	9,660	17,988	23,119	4,349	117,689
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,949	306	152	19	1,295	—	6,723
計	26,418	41,410	9,813	18,008	24,414	4,349	124,413
セグメント利益又は損失(△)	3	△663	1,447	1,409	2,449	206	4,853

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,853
セグメント間取引消去等	△82
四半期連結損益計算書の営業利益	4,770

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計
	日本	北米	欧州	アジア	中国	南米	
売上高							
外部顧客への売上高	18,815	30,643	5,818	8,357	25,943	1,427	91,005
セグメント間の内部売上高又は振替高	6,731	202	119	376	1,022	27	8,480
計	25,547	30,846	5,937	8,733	26,965	1,455	99,486
セグメント利益又は損失(△)	△114	△968	300	△1,181	2,620	10	665

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	665
セグメント間取引消去等	△165
四半期連結損益計算書の営業利益	500